

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(1)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(1)
活動指標	市の職員による福祉に関する出前講座の実施数
関係機関	健康福祉部(福祉相談課)
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：8回 → R6年度：増加	
(R4年度の取組最終実績)	
健康福祉部の出前講座実施回数 計6回実施 (福祉相談課) ①令和4年5月28日：山崎地区老人クラブ(66名)『フレイル予防で健康寿命を延ばそう』 ②令和4年7月12日：新潮会(20名)『フレイル予防で健康寿命を延ばそう』 ③令和4年10月20日：田井福城会老人クラブ(29名)『フレイル予防で健康寿命を延ばそう』 ④令和5年2月18日：山崎地区老人クラブ(66名)『認知症について』 (保健福祉課)発酵教室『にわの糶』を使ったキムチづくり ①R4.12.17(土)：健生会(12人)いちのびあ大ホール ②R5.1.13(金)：穴粟市消費者協会(8人)北庁舎2F調理室	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
(福祉相談課)出前講座を実施し市民に対し、学ぶ機会を提供し、地域福祉意識を普及啓発していく。	
(R5年度の取組)	
健康福祉部の出前講座実施回数 計13回実施 ①令和5年6月27日：須賀沢老人クラブ 第二美須寿会(11名)『フレイル予防で健康寿命を延ばそう』 ②令和5年7月1日：More繁盛(16名)『認知症サポーター養成講座』 ③令和5年10月3日：兵庫森林管理署(30名)『毎日取り組む健康づくり～こころ・休養編～』 ④令和5年10月15日：河原田老人クラブ(45名)『フレイルで健康寿命を延ばそう』 ⑤令和5年11月4日：第一美須寿会(17名)『介護保険制度の成り立ちや介護給付費の仕組みについて』 ⑥令和5年11月5日：黒土自治会(60名)『毎日取り組む健康づくり～栄養編～』 ⑦令和5年11月5日：安黒老人クラブ(40名)『毎日取り組む健康づくり～身体活動・運動編～』 ⑧令和5年11月14日：大歳町自治会(21名)『認知症サポーター養成講座』 ⑨令和5年11月27日：民生委員・児童委員協議会連合会(25名)『知っておこう 成年後見制度』 ⑩令和5年12月10日：三方町老人クラブ(40名)『フレイルで健康寿命を延ばそう』 ⑪令和5年12月26日：けあビジョンホーム穴粟(9名)『知っておこう 成年後見制度』 ⑫令和6年3月1日：健生会穴粟支部(24名)『地域包括支援センターの役割、いきいき百歳体操の目標と目的と現状、健生会への期待』 ⑬令和6年3月1日：オレンジカフェゆいま～る(13名)『介護保険制度の成り立ちや介護給付費の仕組みについて』	
担当課：高年福祉課 ⑤ 保健福祉課 ③ 福祉相談課 ①②⑧⑨⑪⑫⑬ 一宮保健福祉課 ④⑦⑩ 千種保健福祉課 ⑥	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
(福祉相談課)出前講座を実施し市民に対し、学ぶ機会を提供し、地域福祉意識を普及啓発していく。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(2)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(2)
活動指標	「しそ元気づけんき大作戦事業」の実施団体数
関係機関	まちづくり推進課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：12団体 → R6年度：増加	
(R4年度の取組最終実績)	
新規採択が1件、継続事業の採択が7件あり、それぞれ支援を行っている。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
令和4年度も新型コロナウイルスの影響により、活動ができにくい状況が続いたが、新規の相談もあることから、スタートアップ事業の活用を含めて新規取組み団体の掘り起こしに取り組む必要がある。	
(R5年度の取組)	
新規団体が2件（スタートアップ事業）、継続事業の採択が6件あり、それぞれ支援を行っている。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
令和5年度は、令和4年度に比べ、新規団体の相談件数は増加傾向にあったが、新規団体の採択には至っていない。今後さらに、新規取組団体の掘り起こしのため、スタートアップ事業の活用を含め本事業の周知等に取り組む必要がある。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(1)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(3)
活動指標	認知症サポーター養成講座受講者数（ステップアップ講座を除く）
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
<p>(活動指標) H30年度：458人 → R6年度：500人</p>	
<p>(R4年度の取組最終実績)</p> <p>認知症を理解し、地域で暮らす認知症高齢者やその家族の支援者を増やすことを目的に、認知症サポーター養成講座を11回開催、186人の参加となった。対象者としては、社会福祉協議会職員や金融機関職員、小学生、中学生、高校生、教職員、関電サービス職員、オレンジカフェ職員と幅広い年齢の方を対象に実施した。</p>	
<p>II. 課題（めざす姿と現状の差等）</p> <p>後期高齢者が増える中、認知症の方が増えている。今後も認知症の方が安心して住み慣れた地域で生活していくためには、地域の方や企業等に対し認知症を理解し、認知症の方やその家族の支援者を増やしていくために認知症サポーター養成講座を年間20回開催、500名のサポーターを養成していく。</p>	
<p>(R5年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症を理解し、認知症の方や認知症の家族を支えるサポーターを養成し、安心して暮らせるまちづくりに取り組んだ。 認知症サポーター養成講座を14回開催、285名のサポーターを養成した。対象者は金融機関、警察署、民生委員・児童委員、小学生、中学生、自治会と幅広い年齢の方を対象に実施した。 	
<p>II. 課題（めざす姿と現状の差等）</p> <p>後期高齢者が増える中、認知症の方が増えている。今後も認知症の方が安心して住み慣れた地域で生活していくためには、地域の方や企業等に対し認知症を理解し、認知症の方やその家族の支援者を増やしていくために認知症サポーター養成講座を年間20回開催、500名のサポーターを養成していく。</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(4)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(3)
活動指標	認知症サポーター登録者数（延べ数）
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：244人 → R6年度：544人	
(R4年度の取組最終実績) 認知症サポーター養成講座受講者に対し、認知症サポーターの登録者を確認している。令和4年度新規登録者4人、登録者数337人。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
認知症の方が安心して住み慣れた地域で生活していくためには、認知症を理解し認知症の方やその家族の支援者を増やす認知症サポーター養成講座受講者の中から認知症サポーターへの登録を増やしているが、登録者がどの程度、認知症の方への支援をしているか把握できていない。今後、サポーター登録者の活動状況を把握し、支援ができるように継続的な働きかけが必要である。年間、50名の登録者をめざす。認知症サポーター登録者に対し、更に認知症への理解を深め、支援ができるようにステップアップ講座を実施した。	
(R5年度の取組) 認知症サポーター養成講座受講者に対し、認知症サポーターの登録者を確認している。令和5年度新規登録者30人、登録者数368人。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
認知症の方が安心して住み慣れた地域で生活していくためには、認知症を理解し認知症の方やその家族の支援者を増やす認知症サポーター養成講座受講者の中から認知症サポーターへの登録を増やしているが、登録者がどの程度、認知症の方への支援をしているか把握できていない。引き続き、サポーター登録者の活動状況を把握し、支援ができるように継続的な働きかけが必要である。年間、50名の登録者をめざす。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(5)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(3)
活動指標	生活支援サポーター養成講座受講者数(延べ数)
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：11人 → R6年度：17人	
(R4年度の取組最終実績)	
今年度も開催予定であったが、申込み人数が定員に満たず開催は中止となった。	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
高齢者の生活・介護支援サービスを行う生活支援サポーターを養成することにより、高齢者が住みなれた地域での自立した生活を支えることを目的として開催しているが、応募者が少ないことや受け皿が地域にないことが課題として挙げられる。人材育成という視点から今後の開催方法や頻度について検討が必要である。	
(R5年度の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> 一定の福祉及び介護に関する知識及び技術を習得し、高齢者への生活・介護支援サービスを提供できる人材の行く史江を目的に講座を開催した。 令和5年11月15日・16日(修了人数4人)	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
高齢者の生活・介護支援サービスを行う生活支援サポーターを養成することにより、高齢者が住みなれた地域での自立した生活を支えることを目的として開催しているが、応募者が少ないことや受け皿が地域にないことが課題として挙げられる。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(6)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(3)
活動指標	自殺対策ゲートキーパー研修受講者数(延べ数)
関係機関	保健福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：0人 → H6年度：150人	
(R4年度の取組最終実績)	
ゲートキーパー研修(民生委員児童委員、協力員) 99人 ゲートキーパー研修(職員)24人	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
民生委員児童委員対象研修会は昨年度をもって全地区で実施できたため、今後定期的を実施することで自殺対策、ゲートキーパーの考え方の地域への定着を目指したい。 穴粟市は、自殺を社会の問題と捉える認識の低さがうかがえるため、地域全体の意識を変えていくため、市民・職員等への研修も継続していく必要がある。	
(R5年度の取組)	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(6)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(4)
活動指標	市ホームページ等における社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの紹介
関係機関	社会福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：未掲載 → R6年度：掲載	
(R4年度の取組最終実績)	
市内所轄法人について、公益的な取り組みの有無及び取組内容について把握を行う。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
公益事業の取り組みについては、所轄法人において認識や考え方に温度差があるため、行政と法人間が相互に連携していくことで公益的な取り組みを進めていく必要がある。	
(R5年度の取組)	
穴粟市社会福祉法人連絡協議会を開催市、法人間で情報共有を行っているが、公益的な取り組みを把握するに至っていない。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
全体会（連絡協議会）及び施設長会において、公益的な取り組みについて行政側からも問題敵提起を行っているが、以前として所轄法人において認識や考え方に温度差があるため、多くの法人においては取り組みに至っていない。	

第3期宍粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(6)

主要な施策	基本目標 1 基本施策(4)
活動指標	社会福祉法人との公益的な取り組み内容にかかる協議の実施
関係機関	社会福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：未実施 → R6年度：実施	
(R4年度の取組最終実績)	
令和4年11月29日 宍粟市社会福祉法人連絡協議会に参加	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
R3年度に引き続き、所轄法人に対して公益事業についても取り組みについて依頼していくとともに、連絡協議会をとおして法人間の情報共有や関係系の強化を行っていく必要がある。	
(R5年度の取組)	
宍粟市社会福祉法人連絡協議会への参加 <ul style="list-style-type: none"> • R5.8.9 宍粟市社会福祉法人連絡協議会総会に出席 総会及び研修会に参加 • R5.11.27 宍粟市社会福祉法人連絡協議会 施設長会に出席 業務継続計画について協議 	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
宍粟市社会福祉法人連絡協議会については、社会福祉法人が自主的、主体的に活動を行っていただけるよう助言等を行いながら継続的な支援を行う必要がある。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(9)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(1)
活動指標	「通いの場」登録者数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：1,975人 → R6年度：2,250人	
(R4年度の取組最終実績)	
<p>住民主体の「通いの場」に参加者同士が気軽に集まり、交流することで身体機能の維持・向上だけでなく、仲間づくりにつながっている。コロナ禍で活動の中止を余儀なくされることもあったが、徐々に戻りつつある。しそチャンネルなどの媒体を通し心身の健康保持のため情報発信を行った。</p> <p>今年度は、新たに1教室立ち上がった。(令和5年2月末現在)</p>	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
<p>令和6年度まで、毎年50人ずつの参加者数の増加と目標をあげていたが、コロナ禍で参加者数は伸び悩む状況である。まずは、コロナ禍前の参加者数に戻したい。</p> <p>何らかの理由により通いの場へ参加できなくなった方、参加できない方への支援について検討が必要である。また、立ち上げ支援や通いの場の継続支援、専門職によるミニ講座を実施する等、通いの場の充実を図る。</p>	
(R5年度の取組)	
<p>住民主体の「通いの場」に参加者同士が気軽に集まり、交流することで身体機能の維持・向上だけでなく、仲間づくりにつながっている。</p> <p>今年度は、新たに7教室立ち上がり122教室、登録者は1,779人となった。</p>	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
<p>令和6年度まで、毎年50人ずつの参加者数の増加と目標をあげていたが、コロナ禍で参加者数は伸び悩む状況である。まずは、コロナ禍前の参加者数に戻したい。何らかの理由により通いの場へ参加できなくなった方、参加できない方への支援について検討が必要である。</p> <p>また、立ち上げ支援や通いの場の継続支援、専門職によるミニ講座を実施する等、通いの場の充実を図る。</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(10)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(1)
活動指標	認知症カフェ設置数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：10か所 → R6年度：増加	
(R4年度の取組最終実績)	
<p>認知症の人とその家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場として、認知症カフェを11か所設置している。地域包括支援センターは、カフェの立ち上げ支援や充実支援、カフェ参加者から相談があった場合には認知症支援等をしている。</p> <p>今年度、新たに2か所オレンジカフェの立ち上げ相談があり、立ち上げ支援を行った。1か所は閉鎖された。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>認知症の人とその家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場として、認知症カフェの設置を支援する。</p>	
(R5年度の取組)	
<p>今年度、新たに1か所オレンジカフェの立ち上げ相談があり、立ち上げ支援を行い、認知症カフェは12か所となった。</p> <p>認知症カフェは認知症の人とその家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場として設置している。地域包括支援センターは、カフェの立ち上げ支援や充実支援、カフェ参加者から相談があった場合には認知症支援等をしている。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>認知症の人とその家族、地域の人等、認知症を支えるすべての人々が集う場として、認知症カフェの設置を支援する。</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(11)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(1)
活動指標	空き家バンクの登録件数
関係機関	住宅土地政策課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：43件/年 → R7年度：60件/年	
(R4年度の取組最終実績)	
R4年度における空き家バンク物件登録件数は50件程度となる見込み。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
空き家バンクへの登録物件数は、徐々にではあるものの増加傾向で推移している。しかしながら、市内には、まだ多くの活用できる空き家が存在していることから、引き続き、空き家所有者へ空き家バンクへの登録を促す取組等を強化し、空き家の利活用をさらに推進していく。	
(R5年度の取組)	
R5年度において、職員により市内の空き家状況調査を実施し、R6年度における所有者等へのアンケート調査のベースとなる台帳作成を行った。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
空き家バンクの物件新規登録数については、概ね目標に達していると判断できる。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(12)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(2)
活動指標	穴粟市高齢者地域支え合い活動事業登録企業数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：32事業者 → R6年度：増加	
(R4年度の取組最終実績)	
医療関連商品を取り扱う事業所から事業に賛同いただき協定書締結に至った。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
通年して事業に賛同協力いただける事業者を募り、地域の見守りネットワークの体制の構築に取組みたい。	
(R5年度の取組)	
協力事業者に対して業務中に高齢者の異変に気づいた場合、市や警察等と連携を行った事案があるかどうか情報共有するためにアンケートを実施しました。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
通年して事業に賛同協力いただける事業者を募り、地域の見守りネットワークの体制の構築に取組みたい。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(13)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(3)
活動指標	単位老人クラブへの活動費補助件数
関係機関	高年福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：118件 → R6年度：現状維持	
(R4年度の取組最終実績)	
活動費補助件数：107単位クラブ（令和4年度）	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
高齢者の社会参加や生きがいづくりを図るため、老人クラブ連合会や単位老人クラブの活動の支援を行っているが、老人クラブの会員数の減少や役員のなり手不足等により、単位老人クラブ数については、年々減少傾向にある。また、補助メニューのうち子育て支援に寄与するものに関しては、少子化やコロナ禍による老人クラブと学校園所との交流貴機会の減少等により、取組みにくいという状況が続いている。	
(R5年度の取組)	
活動費補助件数：103単位クラブ（令和5年度）	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
コロナ禍においては、老人クラブ活動が困難な状況であったが、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行イベントや会合も徐々に開催され、コロナ禍以前の活動状況に戻りつつある。活動を通し、高齢者の社会参加や生きがいづくりが図れるようになってきたが、役員の担い手不足、単位老人クラブの地域における人口動態の影響等もあり、年々単位クラブ数が減少傾向にある。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(14)

主要な施策	基本目標 2 基本施策(3)
活動指標	シルバー人材センター登録者数
関係機関	高年福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：428人 → R6年度：500人	
(R4年度の取組最終実績)	
登録会員数：407人（令和5年1月末） 延就業者数：35,494人（令和5年1月末）	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
高齢者の方が知識や技能等を活かして、地域で活躍できるようにシルバー人材センター事業を通じて取り組んでいるところであるが、登録会員数は伸び悩んでいる。公的年金の支給年齢の引き上げの影響もあると考えるが、単発や短期の仕事ではなく長期的な仕事を望む方、また、企業の定年延長、再雇用制度が広がる社会の流れ、コロナ禍による外出控えと同様に就労も控えているなどのことも要因と考える 現状と地域の特性を考えながら取り組んでいく必要がある。	
(R5年度の取組)	
登録会員数：405人（令和5年度） 延就業者数：34,654人（令和5年度） ※延就業者数が前年比85.9%になっているのは、公共事業が前年比75.9%と減少しているため。 （新型コロナワクチン接種事業への派遣等の減少）	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
シルバー人材センター事業については、広報誌の発行、チラシ配布、個別訪問等を行い、啓発・推進しているところであるが、企業の定年延長・再雇用制度の影響で65歳前後の入会が進まず、現状、登録会員数は微減となっている。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(15)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)
活動指標	ひとり親家庭からの相談件数
関係機関	社会福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：839件 → R6年度：885件	
(R4年度の取組最終実績)	
R4年度 (R5年1月末時点) 《前年比》	相談回数：965回、相談件数：184件、相談人数：62人 (+78回) (+38件) (+10人)
R3年度 (R4年1月末時点)	相談回数：887回、相談件数：146件、相談人数：52人
R2年度 (R3年1月末時点)	相談回数：600回、相談件数：127件、相談人数：44人
R元年度 (R2年1月末時点)	相談回数：621回、相談件数：150件、相談人数：47人
II. 課題 (めざす姿と現状の差等)	
ひとり親からの相談だけでなく、離婚前相談が年々増加しており、相談内容も複雑化していることから相談業務にあたる母子父子自立支援員の確保や資質向上など、相談者が安心して相談できる体制を整えることが重要である。 また、ひとり親家庭の抱える課題は多岐にわたっているが、なかでも経済的に困窮している方への支援について、現在ある制度では限界があり、自立に向けた支援について、関係機関と密接な連携を図りながらあらゆる制度や資源を把握し、適切な助言や対応を行うことが求められている。	
(R5年度の取組)	
令和元年度：相談件数	172件、相談回数 710回、相談人数53人
令和2年度：相談件数	172件、相談回数 713回、相談人数53人
令和3年度：相談件数	162件、相談回数1,098回、相談人数57人
令和4年度：相談件数	226件、相談回数1,049回、相談人数65人
令和5年度：相談件数	226件、相談回数 694回、相談人数61人
《前年比》	(±0件) (△355回) (△4人)
II. 課題 (めざす姿と現状の差等)	
ひとり親からの相談だけでなく、離婚前相談が年々増加しており、相談内容も複雑化していることから相談業務にあたる母子父子自立支援員の確保や資質向上など、相談者が安心して相談できる体制を整えることが重要である。 また、ひとり親家庭の抱える課題は多岐にわたっているが、なかでも経済的に困窮している方への支援について、現在ある制度では限界があり、自立に向けた支援について、関係機関と密接な連携を図りながらあらゆる制度や資源を把握し、適切な助言や対応を行うことが求められている。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(16)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)
活動指標	基幹相談支援センターにおける相談件数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：2,916件 → R6年度：3,353件	
(R4年度の取組最終実績)	
保健師等の専門職を配置し、障害福祉課と連携を図ることで相談体制の強化を図っている。 また、医療機関や相談支援事業所等の関係機関とも連携して支援した。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
直接の相談も増えているが、他部署を介して対応することも多く、窓口の周知が不十分であると思われる。 今後も周知を行うことで、市民に分かりやすく相談しやすい相談窓口にしていきたい。 また、障害福祉課をはじめ関係機関との連携を深めることで、機能の充実を図っていきたい。	
(R5年度の取組)	
保健師等の専門職を配置し、障がい種別や相談内容に合わせた対応を行ってきた。 対象者の状況によっては、訪問での対応を行うなど柔軟な対応を行い、対象者の困りごとを丁寧に聞き取ることで相談内容の整理を行った。 相談内容に応じて、医療機関・相談支援事業所・サービス事業所など各関係機関へ連携し、支援を行った。また、各関係機関につないだ後も情報共有をすることで関係機関と協働し支援を行うことができた。 相談支援事業所連絡会などの障がい福祉の会議に参加することでも、基幹相談支援センターの活動について周知することで顔の見える関係づくりを行った。そのことで、相談支援事業所からの相談が入り困難ケースについても一緒に取り組むことができた。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
相談件数は若干減少している状況。基幹相談支援センターの相談は、ほとんどが障がい福祉課や相談支援事業所からの相談が多い。障がい者の方が相談内容に合わせて障がい福祉課や相談支援事業所に相談できている状況ともいえる。相談内容に応じて、困難な相談や専門的な相談に対応し各関係機関と連携し支援を行う。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(17)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)
活動指標	生活困窮者からの自立相談件数
関係機関	社会福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：87件 → R6年度：120件	
(R4年度の取組最終実績)	
生活困窮者自立相談支援事業として、相談支援員2名及び就労支援員1名を配置し、生活困窮からの脱却をはかるため相談支援、プラン作成等を行った。また、総合的な仕事の相談窓口事業（商工観光課：委託事業）と連携し、自立相談支援から就労までの一体的な支援を実施した。 1月末時点での相談実績：直営68人、委託20人、計88人	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付が終了や国等の給付金事業が終了したことに伴い、生活保護の相談につながるケースが増えている。	
(R5年度の取組)	
生活困窮者自立相談支援事業として、相談支援員2名及び就労支援員1名を配置し、生活困窮からの脱却をはかるため相談支援、プラン作成等を行った。また、総合的な仕事の相談窓口事業（(株)マインズ委託事業）として、一般就労に課題を抱える生活困窮者について、自立相談支援への繋ぎ、就労準備、就労支援事業を実施し、生活困窮者の自立に向けた一体的、継続的な支援を実施した。 相談実績：直営41人、委託20人、計61人	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
コロナ禍（R3年度）のピーク時に比べ相談件数は減少しているが、物価高騰など経済状況の変化により、依然として就労等への課題を抱える生活困窮する者が一定数存在している。また、生活困窮者は複合的な課題（債務、疾病、障害、人間関係等）を抱えているケースが多いため、支援の複雑化、長期化が懸念される。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(18)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)
活動指標	認知症にかかる相談件数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：735件 → R6年度：1,000件	
(R4年度の取組最終実績)	
<p>R4年度見込み相談件数：1,200件 市民や関係機関からの相談時やいきいき百歳体操の教室等、いろいろな機会に認知症の相談を受けた。 市の健診と合わせ70歳～74歳の方を対象に認知症予防健診を1,359人実施し、認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方に対し訪問により本人の心身状態を確認し、認知機能低下が考えられる方については、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見、早期対応につなげた。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>認知症の早期発見、早期支援の為に、今後も市の健診と合わせ70歳～74歳の方を対象に認知症予防健診を実施し認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方に対し訪問により本人の心身状態を確認し、認知機能低下が考えられる方については、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見、早期対応につなげる。また、健診会場のみでなく、訪問や来所相談、介護予防教室等の機会を活用し兵庫県版認知症チェックシートを実施することで、健診受診者以外の方で認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方を早期に把握し、必要な支援につなげていく。 今年度は、若年性認知症の理解のため、若年性認知症本人の方の写真展と講演会を行った。介護者支援として、認知症の介護経験のある家族のつどいを開催した。今後も、若年性認知症の方への支援についての検討や介護者支援の充実に向けて検討の必要がある。</p>	
(R5年度の取組)	
<p>R5年度相談件数：948件 市民や関係機関からの相談時やいきいき百歳体操の教室等、いろいろな機会に認知症の相談を受けた。 市の健診と合わせ70歳～74歳の方を対象に認知症予防健診を1,194人実施し、認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方に対し訪問により本人の心身状態を確認し、認知機能低下が考えられる方については、認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見、早期対応につなげた。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>認知症の早期発見・早期治療の周知を進めたことや、市民や関係機関からの相談時やいきいき百歳体操の教室等、いろいろな機会に認知症の相談を受けることで、相談件数も増えてきている。今後も、認知症予防健診会場のみでなく、訪問や来所相談、介護予防教室等の機会を活用し兵庫県版認知症チェックシートを実施することで、健診受診者以外の方で認知機能の低下や社会生活に支障が出ている可能性が高い方を早期に把握し、必要な支援につなげていく。</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(19)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(1)
活動指標	ふくし総合相談窓口の設置
関係機関	健康福祉部
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：未設置 → R6年度：設置	
(R4年度の取組最終実績)	
福祉相談課内に地域包括支援係（地域包括支援センター）と相談支援係（基幹型相談支援センター）を設置し相談窓口を充実している。相談内容により、社会福祉課や障害福祉課、高年福祉課、保健福祉課等、健康福祉部内で連携しながら支援している。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
高齢者のみ世帯、身寄りのない方、介護を必要とする方、障がいのある方、ひきこもりの方の世帯、老々介護（高齢者が高齢者を介護）、認知介護（認知症の方が認知症の方を介護）などの方が、相談しやすいように相談窓口を充実し、関係機関と連携しながら支援ができる体制を充実させる。	
(R5年度の取組)	
福祉相談課内に高齢者の包括的な相談窓口である地域包括支援係（地域包括支援センター）と障がい者の包括的な相談窓口である相談支援係（基幹型相談支援センター）を設置することで、包括的な相談窓口となっている。相談内容により、社会福祉課や障がい福祉課、高年福祉課、保健福祉課等、健康福祉部内で連携しながら支援している。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
庁内外の関係機関と連携する仕組み（重層的支援体制整備事業の活用）を検討する必要がある。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(20)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(2)
活動指標	地域ケア個別会議開催数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：19回 → R6年度：30回	
(R4年度の取組最終実績)	
<p>軽度者の自立支援を目的とした、自立支援サポート会議（軽度者の自立に向けた支援検討）：11回開催（29ケース）（令和5年2月末現在）</p> <p>処遇困難ケースの検討を目的とした、地域ケア個別会議（処遇困難ケース等の検討）：8回開催（9ケース）</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>多重問題世帯や処遇困難ケースが増える中、介護支援専門員や介護保険サービス事業所、地域包括支援センターのみではなく、民生委員児童委員、福祉委員、自主防災組織等、地域を巻き込むことで住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域ケア個別会議にて検討しているが、1回の会議開催のみでなく、必要な方に対しては継続的な検討が必要である。</p> <p>軽度者のケースに対しては、保健師、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、セラピスト、主任介護支援専門員、生活支援コーディネーターが集まり、それぞれ専門職としての視点より自立支援につながるように検討しているが、その後の振り返りをする中で必要な方については自立支援の方向性を再検討する。また、地域ケア個別会議を通じ地域課題について検討し、地域ケア推進会議で施策形成等の検討をしていく。今年度は、地域の社会資源等を把握している生活支援コーディネーターを新たにメンバーに加え地域力も含め検討している。</p>	
(R5年度の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> 軽度者の自立支援を目的とした、自立支援サポート会議（軽度者の自立に向けた支援検討）：12回開催（24ケース） 処遇困難ケースの検討を目的とした、地域ケア個別会議（処遇困難ケース等の検討）：9回開催（10ケース） 自立支援サポート会議は1回3ケース検討していたが、1回2ケースとして、介護支援専門員や助言者である専門職が地域課題について考える時間も設けた。 	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>多重問題世帯や処遇困難ケースが増える中、介護支援専門員や介護保険サービス事業所、地域包括支援センターのみではなく、民生委員児童委員、福祉委員、自主防災組織等、地域を巻き込むことで住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域ケア個別会議にて検討しているが、1回の会議開催のみでなく、必要な方に対しては継続的な検討が必要である。</p> <p>軽度者のケースに対しては、保健師、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、セラピスト、主任介護支援専門員、生活支援コーディネーターが集まり、それぞれ専門職としての視点より自立支援につながるように検討しているが、その後の振り返りをする中で必要な方については自立支援の方向性を再検討する。また、地域ケア個別会議を通じ地域課題について検討し、地域ケア推進会議で施策形成等の検討をしていく。</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(21)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(3)
活動指標	成年後見制度に関する相談件数(延べ数)
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：11件 → R6年度：22件	
(R4年度の取組最終実績)	
成年後見制度利用促進研修会を介護支援専門員や福祉専門職向けに開催し、制度が必要な方への支援体制を図る取組を行った。また、日々の相談の中で、成年後見制度の利用支援が必要な方には個別に訪問し制度への繋ぎや説明を行った。	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
権利擁護・成年後見制度に関する相談は、ケアマネジャーや医療機関からの相談割合が高い一方で、支援する者が成年後見制度に関する知識がなかったり、相談するタイミングや相談先を知らないなど、支援者に対しての周知が必要である。	
(R5年度の取組)	
行政・福祉職のための成年後見制度研修会を実施し、ケースの発見から制度利用のタイミングについて事例を通じ参加者に伝えることにより、制度の普及啓発、相談先の明確化を図る取組を行った。 また、日々の相談の中で、成年後見制度の利用支援が必要な方には個別に訪問し制度への繋ぎや説明を行った。	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
高齢者、障がい者支援に関わる支援者、民生委員等向けに研修会を行うことで、制度が必要な人の発見に努める必要がある。	

第3期宍粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(22)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(3)
活動指標	市民後見人候補者数
関係機関	福祉相談課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：4人 → R6年度：8人	
(R4年度の取組最終実績)	
<p>西播磨成年後見支援センターに委託し、市民後見人養成講座を開催した。 基礎研修、実践活動研修、フォローアップ研修のすべてを終了したのは7名（うち宍粟市は4名）。 令和5年1月末現在、市民後見人バンク登録者数は51名（うち宍粟市は6名）となっており、今年度養成研修全課程終了者のうち新たに4名がバンク登録される見込みとなっている。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>現在、市に後見人等候補者の受任を調整する機能がなく、市民後見人の柔軟な活動（専門職後見人との複数後見や専門職後見からのリレー受任等）が検討できておらず、市民後見人が受任する事例がない状態となっており、市に受任調整機能が必要である。</p>	
(R5年度の取組)	
<p>令和5年度より、福祉相談課内に成年後見制度中核機関を設置したことで、相談から受任調整、申立てまでを一連で行うことができるようになった。そのことにより、10人の宍粟市市民後見人バンク登録者の中から3人の市民後見人の受任につなげることができた。また、受任後の後見活動のサポートも併せて行った。</p>	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>制度を必要とする人が年々増える中、成年後見制度の担い手として、地域福祉活動の担い手としても市民後見人は貴重な存在である。中核機関の役割として、新たな市民後見人を育成して活動できるようにつなげていく必要がある。多様化する本人のニーズに応じていくためには、多様な担い手の育成を継続的に実施していく必要がある。</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(23)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(4)
活動指標	専門職及び市民向けゲートキーパー研修の開催回数(延べ数)
関係機関	保健福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度:0回 → R6年度:5回	
(R4年度の取組最終実績)	
ゲートキーパー研修(民生委員児童委員、協力員) 99人 ゲートキーパー研修(職員)24人	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
穴粟市の自殺率は高い状況が続いており、特に高齢者(60歳以上)の割合が6割を占めている。ケアマネジャーや相談支援専門員、介護福祉職の支援者がゲートキーパー研修を受講することで、自殺の危険性が高い人の早期発見、早期対応を図り、自殺を未然に防ぐ体制を構築したい。	
(R5年度の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員、民生・児童協力員対象ゲートキーパー研修:2回 市職員対象ゲートキーパー研修:1回 合計 3回 ゲートキーパー研修で市内の自殺の状況等についても説明し、自殺対策についての理解を図った。	
II. 課題(めざす姿と現状の差等)	
穴粟市の自殺率は高い状況が続いているため、定期的にゲートキーパー研修を開催することで、自殺の危険性が高い人の早期発見、早期対応を図り、自殺を未然に防ぐ体制を構築したい。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(24)

主要な施策	基本目標 3 基本施策(4)
活動指標	生活困窮者等への就労支援人数
関係機関	社会福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：43人 → R6年度：60人	
(R4年度の取組最終実績)	
日常生活習慣の改善、就労に向けた技法習得などを支援する「就労準備支援」と、求人情報の提供や個別相談、就職後の職場定着支援などを行う「就労支援」を委託により実施した。 1月末現在実績：就労準備支援10人(内就労活動につながった者2人)、就労支援24人(内就労に結びついた者17人)	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
就労支援事業については、R3実績では約65%、R41月末実績では約71%と目標値には到達していないものの、少しずつではあるが支援の成果が結果となっている。就労準備支援事業については、令和3年度と変わらず横ばい傾向となっている。就労について個々が抱える課題や問題は様々であるため、個人の特性が異に応じた支援が求められる。	
(R5年度の取組)	
日常生活習慣の改善、就労に向けた技法習得などを支援する「就労準備支援」と、求人情報の提供や個別相談、就職後の職場定着支援などを行う「就労支援」を委託により実施した。 実績：就労準備支援16人(内就労活動につながった者5人)、就労支援43人(内就労に結びついた者22人)	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
生活困窮者の課題が複雑化しており、就労の支援で本人の状況が改善されないケースが増えているため、担当課を含めた福祉関係部局等の一体的な支援を行う体制が求められる。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(25)

主要な施策	基本目標 4 基本施策(1)
活動指標	福祉避難所の協定数
関係機関	危機管理課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：15か所 → R6年度：増加	
(R4年度の取組最終実績)	
新たな「災害時における福祉避難所の開設等に関する協定」の締結には至らなかったが、福祉避難所開設を担当する健康福祉部が、協定福祉避難所である福祉施設に対して福祉避難所開設・運営マニュアルを用いて説明を行い、連携強化のための認識の統一を図った。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
地域でまんべんなく福祉避難所を開設できるよう事業者への説明を行い協定締結に向けて働きかける必要があるとともに、実際に避難者を受け入れるための避難訓練なども行う必要がある。	
(R5年度の取組)	
R4年度に引き続き、福祉避難所開設を担当する健康福祉部が、協定福祉避難所である福祉施設に対して福祉避難所開設・運営マニュアルを用いて説明を行い、連携強化のための認識の統一を図った。	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
避難開設訓練とともに、避難行動要支援者などの受入れを想定した受入訓練などの行っていく必要がある。	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(26)

主要な施策	基本目標 4 基本施策(2)
活動指標	公共交通の利用者数（路線バス利用者数）
関係機関	まちづくり推進課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：276,838人 → R6年度：262,080人	
(R4年度の取組最終実績)	
<p>市民生活に必要不可欠なバス路線を維持するため、バス運行事業者が要する運行経費の一部について補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外連絡路線（大型バス路線）4路線、市内完結路線（小型バス路線）24路線、山崎待合所周辺を循環するバス路線の運行補助、広域路線（姫路、ダイセル線等）5路線 ・路線バス利用実績 226,031人 	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>R4年度の利用者数は前年度より増加となった。引き続き利便性の向上に取り組み、利用促進を図っていく。</p> <p>また、利用が少ない路線についての代替交通手段として、R4年10月より一宮町繁盛・三方地区において、地域が主体となり地域住民による互助交通の実証実験を開始した。今後、当該互助交通について自家用有償旅客運送の登録を行った上で本格運行するとともに、他の利用が少ない路線についても地域に合った形で、持続可能な代替交通手段を検討していく。</p>	
(R5年度の取組)	
<p>市民生活に必要不可欠なバス路線を維持するため、バス運行事業者が要する運行経費の一部について補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外連絡路線（大型バス路線）4路線、市内完結路線（小型バス路線）15路線、山崎待合所周辺を循環するバス路線の運行補助、広域路線（姫路、ダイセル線等）5路線 ・路線バス利用実績 230,916人 <p>R5年4月より、一宮町繁盛・三方地区において、地域が主体となり地域住民による互助交通「三方繁盛つれてってカー」の本格運行を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つれてってカー登録者数 114人 延べ利用者数 232人 	
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
<p>新型コロナウイルスの影響による利用者数の減少から、徐々にではあるが利用者は年々増加傾向にあり、R5年度の利用者数についても前年度より増加となった。引き続き利便性の向上に取り組み、利用促進を図っていく。</p> <p>また、全国的にバス乗務員不足が深刻化しており、バス運行事業者としても減便せざるを得ない状況となっている。今後、他の利用が少ない路線についても、自家用有償旅客運送等の地域に合った形で持続可</p>	

第3期穴粟市地域福祉計画施策検証シート

活動指標に対する評価等(26)

主要な施策	基本目標 4 基本施策(2)
活動指標	登録手話通訳者数
関係機関	障害福祉課
I. 具体的な取組内容、目標の達成度等	
(活動指標) H30年度：16人 → R6年度：20人	
(R4年度の取組最終実績)	
手話奉仕員養成講座（入門編）	20回開催 修了者数 5人（受講者数 10人）
手話奉仕員養成講座（基礎編）	22回開催 修了者数 5人（受講者数 5人）
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
手話奉仕員養成講座が入門編と基礎編の2年で修了となるが、その後に手話通訳士試験があり、対策としてレベルアップ講座や試験対策の講座を実施しているが登録者数の増加には繋がっていない。	
(R5年度の取組)	
手話奉仕員養成講座（入門編）	21回開催 修了者数 8人（受講者数 11人）
手話奉仕員養成講座（基礎編）	23回開催 修了者数 5人（受講者数 5人）
II. 課題（めざす姿と現状の差等）	
手話奉仕員養成講座の修了後、レベルアップ講座の受講につなげていきたい。 資格取得を目指す人に、全国手話通訳者統一試験対策講座、手話通訳士技能認定試験対策講座を受講してもらい、試験に合格した場合には手話通訳者として市登録いただく。令和5年度は手話通訳者統一試験対策講座受講者のうち、1名が合格されている。（以前より、手話奉仕員として登録されていた方が合格。）	